

保育・教育の価値とリスク 感染症流行と、変わる社会のもとで

4月、未就学児施設はどこもかしこも大わらわです。0歳児は年度途中から入園という園もありますが、それでも、全員が新しい子どもたち。1歳児クラスはほぼ全員が4月1日入園、それだけでなく、園によってはクラスの半分が新入園児ということも。1歳児も2歳児も3歳児も、特に初めて親元を離れたのなら大泣きして当然でしょう（初日から保護者とさっっぱり離れられる子どもは、かえって先が心配）。

先生たちの心を守るためにも、子どもの命を守る具体的な取り組みが必須です。鍵は？「いつも」がまだわからない子どもたち、という点です。新入園児は「いつもの○○ちゃん」がわからない。その子たちがいるから、在園児たちの「いつも」も揺らいでしまう。そういうことです。

新年度の深刻事故予防の鍵は、 「『いつも』がわからない」

3

掛札逸美

KAKEFUDA Itsumi

心理学博士

保育の安全研究・教育センター

心理学博士（健康／社会心理学。専門は安全とコミュニケーションの心理学）。1964年生まれ。筑波大学卒。健康診断団体広報室に10年以上勤務後、2003年、コロラド州立大学大学院に留学、2008年、博士号取得。産業技術総合研究所特別研究員を経て、2013年、NPO 法人保育の安全研究・教育センター設立（2020年に任意団体化）。厚生労働省「平成27年度 教育・保育施設等の事故防止のためのガイドライン等に関する調査研究事業検討委員会」委員の他、死亡事故の検証委員等も務める。

「いつもと違う」に気づく睡眠チェック

体調管理を体温だけに頼っている先生は、どこにもいないはず。いつもより元気がない、いつもより汗をかいている、いつもより鼻声…、先生たちは子ども一人ひとりの「いつも」を知っているから、「○○ちゃん、ちょっと変だな」と気づけます。「いつも」がわからないのは、とても危険なことなのです。

0歳児、1歳児が眠っている時、皆さん、睡眠チェックを*1*1をします。ただ「息をしているかどうか」を調べるためではありません。「いつもの○○ちゃん」と違わないかを、見て、聞いて、触れて確認するため。そして、新入園児については、「いつもの○○ちゃん」を学ぶ

ためです。年度の初めは特に大切で、それが睡眠中の異常という深刻なできごとを防ぐことにもつながります。

泣いている子ども、眠らない子どもを無理に寝かさない

新入園児は強いストレスにさらされています。考えてみてください。あなたが知らない土地へ引っ越して明日から新しい職場に出勤するという夜。あるいは、とてもつらいできごとに遭って大泣きしている夜。「いつも」通り眠れますか？「子どもの気持ちに寄り添う」とおっしゃるなら、新しい環境、知らない人たちの中に突然置かれた子どものストレスも想像できるはず。在園児たちも「知らない子ども」にとまどっています。それはストレスであり、体にも影響します（血圧、心拍、ホルモンの変化等）。園で起こる睡眠中の死亡はほとんどが預け始めに起こり、1、2歳児（クラスではなく年齢）の死亡は家庭よりも発生確率が高く、さらに園で起こる1、2歳児の死亡の4分の3はうつぶせだそう^{*2}です。「1歳だし、うつぶせで苦しければ、寝返りを打つだろう」…、なんらかの理由でそれができないのです。

をしていたかどうかによって、責任を問われるかどうかも変わってきます。

異常に気づいたら119番と一次救急

睡眠チェックをしていて異常に気づいたら、すぐに救急搬送を要請しましょう。そして、心肺蘇生（胸骨圧迫と人工呼吸。手近にあつて使えるのであればAEDも）を同時に始めます。「他人の子どもの命を仕事として預かっている専門家集団」として、果たすべき責任です。いまだ、「救急車を呼ぶなんて恥」「うちではそんな事故は起こらない」と思っている施設長もいるようですが、「すべきこと」はおむけ寝＋睡眠チェック＋119番＋心肺蘇生^{*}をしていなかったら、子どもの命が失われる確率が上がり、施設長や職員の責任を問われる確率が上がり、先生たちの安心も確保できません。

一次救急は、

- ・ 血液内にある酸素を循環させ続け、脳を守るための胸骨圧迫
- ・ 体内の酸素を増やすための人工呼吸
- ・ 心臓の細動が起きているかを調べ、起きていたら電気ショックで細動を止めるAED

の3つから成り立っています^{*3}。ここに、誤嚥窒息時の気道異物除去。いずれも定期的に園内で練習しておくことが、安全と先生たちの安心と責任のためのポイントです。

「いない」に気づけない危険

新入園児が1人や数人しかいない以上児クラスにも、リスクは隠れています。新入園児の名前や顔はまだ先生たちの脳に登録されきっていませんから、「いない」に気づけない確率が高いのです。

人間の脳には、慣れてしまつて気づけないという側面もある一方、慣れている情報にだけ意識が向き、新しい情報を無視してしまう側面もあります。在園児は「いるはずの〇〇ちゃんがない」と気づけるのに、新入園児は気づきにくいということ。新入園児の中には、「おうちに帰る！」という強い意志で、園を出ていく子どももいますから…。

「活動の価値！」とは言つても、やはり4月は先生たちも子どもたちも大変。リスクの部分を大きめに見積もつて活動をし、先生たちも無理をしないようにし、その後の園運営が順調に進むようにしていきましょう。

*1 「保育の安全」(検索)サイト↓「安全のトピックス」↓「保育の安全シート」の1
*2 「安全のトピックス」↓3の「睡眠の安全2021」
*3 「保育の安全シート」の2と、「安全のトピックス」↓「0緊急事態時の訓練用動画と解説」